

## < 2022年度事業計画書 >

### 【事業方針】

本年度、当協会が掲げる目標は5点あります。

#### ◎1点目は、with コロナにおける協会運営の理想的な姿の確立です。

本年度は当協会各本部の各事業について、引き続き新型コロナ感染症対策をはじめ安全第一で以下記載の本年度事業計画の全事業を実施することを目標の最初に掲げます。計画した事業を全て実行するという、当たり前のことが2年間成し遂げられなかったことを重く受け止めるとともに、本年度も感染者数の動向等により、ぎりぎりの判断が必要な局面もあるかもしれませんが、対応力をもって事業をやり切る“with コロナ”の協会運営を確立したいと考えております。

#### ◎2点目は、海の森水上競技場利用に向けた準備を完了させることです。

いよいよ本年度中に施設が供用開始となりますが、現在のところ、使用可能時期や1,000mレースのスタート方法、整備される艇庫や備品等の実態、施設管理者が利用者に提供するサービス（安全対策含む）の具体的な内容、競技場への公共交通機関の整備状況など、東京都等から情報提供のない事項が多々あります。当協会では、公益社団法人日本ボート協会と協力して、未確定事項の早期解消、競漕会開催の場合の安全確保・水路作業・参加クルーの艇輸送（費用負担・方法等）などの課題解決に向け、東京都や施設管理者等関係者と協議を進めます。加盟団体の皆様に情報提供と意向調査をさせていただき、海の森競技場での競漕会をはじめ各事業の実施に向け検討を進めます。尚、本状況下のため本年度は戸田漕艇場での大会開催を予定しております。

#### ◎3点目は、7月に開催される国体関東ブロック大会の開催です。

当協会は、大会主催者としてプロジェクトチームを立ち上げます。会場は東京都の強い意向で海の森水上競技場を予定しております。当協会としての最初の海の森水上競技場の利用が関東ブロック大会になります。前回、荒川で開催した関東ブロック大会で尽力いただいた諸先輩の方々にもご協力いただくなど、一丸となって準備を進めます。

#### ◎4点目は、海の森水上競技場をベースとする地域総合型スポーツクラブの設立です。

本件は、2020 東京オリパラの海の森水上競技場のレガシー計画に規定されている事業で、公益社団法人日本ボート協会・公益社団法人日本カヌー連盟・東京都カヌー連盟・当協会の4団体が設立に当たります。

地元競技団体である当協会はその中心的役割を果たさねばなりません。いよいよ本年度若しくは来年度早々の設立に向け準備を進めることになりました。当初はカヌーなどと連係した普及活動が中心となりますが、クラブによるあらたな競漕会の開催や中学生の強化育成などにも順次、その役割を拡げることになります。

#### ◎5点目は、協会体制と財政面での強化案の検討・策定です。

今年度より、新たな競技場利用や総合型クラブの設立など従来事業の枠組みを超える取組が開始されます。加盟団体の皆様に満足していただけるサービス（競漕会やSDGsの取組等）の提供や東京都民を中心とした、ボート未経験者・ボートから遠ざかっていたボート経験者の方に“気軽にボートに触れる機会を提供する”など、東京都のボートシーンをあらたに展開する契機となる年になります。そのために協会体制と財政面の強化策が必要です。

本年度も、加盟団体の皆様、東京都・都内各区および地域の皆様、公益社団法人日本ボート協会・関東漕艇学生連盟ほかボート関係各位の皆様、そして当協会顧問・委員の皆様の更なるご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。 各本部の事業計画は以下の通りです。

【各事業計画】

1. 競技開催事業

- ・以下の通り、競技会を開催する。

|           |                                 |    |
|-----------|---------------------------------|----|
| 3月26、27日  | 第70回お花見レガッタ<br>第31回東日本中学選手権競漕大会 | 戸田 |
| 7月23、24日  | 第70回東日本選手権（2,000M）              | 戸田 |
| 6月25、26日  | 第7回東日本夏季競漕大会                    | 戸田 |
| 11月19、20日 | 第45回東日本新人選手権競漕大会                | 戸田 |
|           | 第18回スカル選手権競漕大会                  |    |
|           | 第32回東日本中学新人選手権競漕大会              |    |

2. 普及事業

- ・以下の通り大会を開催する。

|        |                     |    |
|--------|---------------------|----|
| 6月26日  | 第6回東日本マスターズ競漕大会     | 戸田 |
| 11月19日 | 第22回谷古茂盾争奪マスターズ競漕大会 | 戸田 |
| 11月20日 | 第12回小学生レガッタ         |    |

- ・例年通り、活動を行う。

東墨田 ボート教室 1月～12月 毎月第1日曜日  
 東大島 ボート教室 4月～10月 毎月第1土曜日  
 水元 ボート教室 4月～11月 毎月第3土曜日  
 多摩川、日本橋川 ボート教室日程 未定

3. 強化事業

- (1) 以下の通り予選会を開催する。（高校関係は高体連との共催）

|       |                         |    |
|-------|-------------------------|----|
| 5月8日  | 国体少年チャレンジマッチ            | 戸田 |
| 6月4日  | 第77回国民体育大会ボート競技 成年都予選会  | 戸田 |
| 6月19日 | 第70回全国高等学校選手権競漕大会 都予選会  | 戸田 |
| 9月18日 | 2022年度関東高等学校選抜競漕大会 都予選会 | 戸田 |

- (2) 以下の事業を強化事業として実施する。

- ① 国体候補選手強化事業
- ② 国体強化遠征

・以下の通り、国体強化遠征・強化試合を予定する。

|          |          |     |
|----------|----------|-----|
| 3月26、27日 | お花見レガッタ  | 戸田  |
| 4月9日     | グリーンレガッタ | 戸田  |
| 4月10日    | 三大学レガッタ  | 戸田  |
| 4月15～17日 | 中日本レガッタ  | 愛知池 |
| 5月1日～4日  | 朝日レガッタ   | 琵琶湖 |

(3) 以下の5事業を公益財団法人東京都体育協会の受託事業として実施する。

- 国体候補選手強化事業
- ジュニア選手強化事業
- ジュニア育成事業
- オリンピック候補選手強化事業
- トップアスリート発掘事業

#### 4. 審判事業

(1) 当協会主催レースへの審判体制の維持

各大会20名の審判体制を堅持する。また、特にお花見、東日本等、全国規模でクルーが集まる大会については、コロナ感染状況を見据えながら可能な限り艇計量を実施する。特に海の森コースを使用した大会では、これまで各団体の艇庫から競漕艇が出艇していたため実施不可能であった監視業務を行う。

(2) C級審判員の活動機会増加策と新規養成

コロナの関連で活動期間が狭められている審判に対し、コロナ感染拡大が休息している期間を狙い、積極的に勉強会、日本ボート協会主催大会・他県大会・対校戦への派遣を行うことで活動機会を増やし、少しでも稼働率を高め技量維持を行う。またしばらく実施していなかったC級試験を実施し今年度の新規審判員を養成する。

(3) 強化部との連携

強化部が選手を派遣する三大学、グリーン、中日本、朝日の各大会については、先方の競漕委員会とも相談の上、できるだけ当協会の審判員を派遣する。

(4) B級審判員への昇格促進

2022年B級試験への挑戦資格を持っているC級審判員への当協会研修会を実施する。